

第93回埼玉大学脳科学セミナー

主催: 埼玉大学脳末梢科学研究センター

トランスポーターと創薬 Transporters and new drug development

安西 尚彦 先生
(Naohiko Anzai)

千葉大学大学院医学研究院薬理学・教授

日時: 2018年 10月 24日 (水) 16:20 ~

場所: 理学部3号館 2F 11番 教室

トランスポーターとは、以前はキャリアとか輸送担体と呼ばれていた細胞膜にあって物質の透過を担う膜タンパク質を言う。トランスポーターは、当初薬物輸送との関連に注目がなされ、薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)の寄与因子である薬物トランスポーターが医薬品の開発へ利用される一例となった。これに加え最近では、トランスポーターと病態との関連が徐々に明らかになり、例えば腎臓のNa⁺依存性グルコーストランスポーターSGLT2阻害薬が新規抗糖尿病薬として開発・導入された例など、創薬の分子標的としての役割が注目を集めている。

本講演では演者の主要な研究テーマである成人性疾患とトランスポーターの関連の例として、抗悪性腫瘍薬開発とL型アミノ酸トランスポーターLAT1および高尿酸血症治療薬開発と尿酸トランスポーターURAT1/URATv1を例に、トランスポーター分子標的創薬について紹介をします。

脳末梢科学研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくはHPをご覧ください。 <http://subsi.saitama-u.ac.jp/>

問合せ: 脳末梢科学研究センター 中井淳一 内線5140